写真提供：佐野 登 師

第1回　9月5日(土)

能学道～心の処方箋～

講師　佐野 登(シテ方宝生流能楽師)

講師自らの稽古や演能のエピソード紹介のほか、所作や仕舞の実演もあります

能楽師による、一歩踏み込んだ能のお話を２回にわたってお送りします

令和八年度

能楽講座

各回13:30～15:00（13:00開場）

受講料無料／事前申込不要

第2回　10月3日(土)

夢幻と現在
～「三井寺」「熊坂」を例に～

講師　佐野 玄宜(シテ方宝生流能楽師)

講演の最後に仕舞の実演があります

三井寺　藪 克徳　　熊坂　渡邊 隆士

月岡耕魚画『能楽圖絵』後編上より「三井寺」（国立国会図書館デジタルコレクション）

会場・お問合せ
石川県立能楽堂
〒920-0935　金沢市石引4-18-3
TEL・FAX：076-264-2598

第1回　9月5日(土)

能学道～心の処方箋～

講師　佐野 登(シテ方宝生流能楽師)

能は600年以上にわたり、人の心と人生を見つめ続けてきた芸能です。悲しみや苦しみ、喜びを描くことで、「人はどう生きるか」を静かに問いかけます。そこに能ならではの癒やしと生きる力があります。本講演では、稽古や舞台を通して得た学びを、実演を交えて紹介し、現代をより心豊かに生きるための「心の処方箋」を皆さまとともに考えます。

1960年生まれ。宝生流十八代宗家宝生英雄に師事。国内外での演能活動のほか、謡曲・仕舞も指導する。「生きる力」をテーマに学校・幼児教育における次世代育成の日本の伝統・文化理解、体験型プログラムや授業を実施。教員・教育関係者への講演も多数行う。中島みゆき「夜会」の出演をはじめ、他ジャンルのアーティストとの交流も多く、現代に活きる能楽を目指し、積極的に活動をしている。重要無形文化財総合認定保持者。

第2回　10月3日(土)

夢幻と現在
～「三井寺」「熊坂」を例に～

講師　佐野 玄宜(シテ方宝生流能楽師)

能の物語の形態は、ワキが見た夢や幻の中で物語が展開され、神や幽霊などこの世の者ではない存在を主人公とする「夢幻能」、現実の世界での事件や出来事を題材とする「現在能」の大きく2つに分けられます。本講演では、金沢能楽会10月定例能の上演曲「三井寺」と「熊坂」を取り上げ、各曲のあらすじや見どころ、曲の特徴のほか、装束や能面などについてもご紹介します。

1981年生まれ。シテ方宝生流佐野由於の長男。十九世宗家宝生英照、二十世宗家宝生和英に師事。1986年「鞍馬天狗」の子方にて初舞台、1999年「経政」にて初シテ。これまでに「石橋」「道成寺」「乱 和合」を披く。現在は、石川県立能楽堂や宝生流の定期公演の出演をはじめ、学生能楽サークルである國學院大學宝生会の指導、学習院大学・椙山女学園大学非常勤講師として教壇に立つなどして能楽普及に努める。重要無形文化財総合認定保持者。

会場・お問合せ

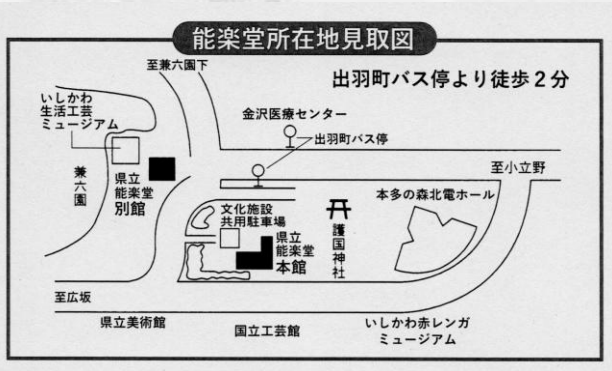
石川県立能楽堂(月曜日休館)

〒920-0935　金沢市石引4丁目18番3号
TEL・FAX：076-264-2598
E-mail：noh@pref.ishikawa.lg.jp
ホームページ：https://noh-theater.jp/
公式X(旧Twitter)でも情報発信中！

ホームページ　公式X(旧Twitter)

おしらせ

能楽体験ワークショップ
―シテ、ワキの違いと役割vol.2―

日時：10月31日（土）13:30～15:00
講師：髙橋憲正、渡貫多聞
定員：20名（要事前申込）
料金：無料

詳細が決まり次第、チラシやホームページ、Xでお知らせいたします